

仕様書別紙

項 目	性 能 等
1.Cアーム装置本体	1-1 Cアームの内径は68cm以内であること。 1-2 Cアームの開口径は78cm以上であること。 1-3 Cアームの円弧スライド範囲は、120°以上であること。 1-4 Cアームの回転範囲（ピボット）は、±200°以上であること。 1-5 Cアームの上下動範囲は、41cm以上であること。 1-6 Cアームの前後動範囲は、20cm以上であること。 1-7 Cアームのロック/リリース機能を有すること。 1-8 Cアームの首振り角度は、±10°以上であること。首振りがない場合は本体装置の移動で首振りと同等の動作が可能であること。 1-9 フットペダル及びハンドスイッチの曝射スイッチが装備されていること。 1-10 無線フットスイッチを備えること。 1-11 Cアーム本体上に透視画像を表示できる10インチ以上のタッチ液晶モニタを有すること。 1-12 SIDは100cm以上であること。
2.X線高電圧発生装置	2-1 インバーター方式であること。 2-2 X線出力は、2.0kW以上であること。 2-3 連続透視時の最高管電流は、12mA以上であること。 2-4 透視時の最高管電圧は、110kV以上であること。 2-5 8パルス/秒以上のパルス透視が可能であること。 2-6 DR(ワンショット)撮影が可能であること。
3.X線検出器	3-1 フラットパネルディテクタ（FPD）であること。 3-2 最大視野は、30cm以上であること。 3-3 視野は3段階以上の切り替えが可能であること。
4.X線管装置	4-1 焦点サイズは、0.6mm以下であること。 4-2 X線管蓄積熱容量は、50,000HU以上であること。 4-3 最大陽極冷却率は、37,000HU/min以上であること。 4-4 X線絞りを有しており、回転ができる絞りを有すること。 4-5 面積線量計を装備していること。
5.ディスプレイモニタ	5-1 Cアーム本体のタッチパネルモニタのほかに2画面表示可能なディスプレイモニタを用意すること。 5-2 モニタの解像度は1280×1024ピクセル以上であること。
6.その他	6-1 画像の輝度やコントラストを自動的に最適化する機能を有していること。 6-2 ラストイメージホールド(LIH)機能があること。 6-3 本体に保存した画像をDICOM形式にて画像送信機能を有すること。 6-4 院内に規定されるWorklist取得機能を有すること。 6-5 画像送信機能およびWorklist取得機能は無線で対応可能であること。 6-6 画像記録容量は、90,000画像以上であること。 6-7 当院のシステムとの接続が可能であること。(DICOMStorage・MWM) 6-8 管理用パソコンを1台用意すること。 6-9 セパレート防護衣一式を用意すること。
7.保証期間	7-1 納入検査確認後1年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。 7-2 保守契約はX線管を含めたフルメンテナンスとして提案できること。(別途契約)
8.障害支援体制	8-1 県内もしくは近郊にサービス拠点が有り、迅速な対応が可能であること。 8-2 障害が発生した場合は、夜間、休日も含め通報から速やかに現場へ専門技術者を派遣できる体制が可能であること。
9.動作確認と教育期間	9-1 操作指導を行える期間を設けること。 9-2 関連機器への接続時不都合なシステムとなる場合、当院放射線技術科技師と打ち合わせ改善につとめること。
10.装置の搬入、据付	10-1 機器の搬入、据付、調整については、本院の診療業務に支障をきたさないよう、本院の職員と協議の上その指示によること。 10-2 納入場所が病院であるという特殊性を考慮に入れて、搬入、据付、調整等の際には清潔に注意すると共に、上記の作業終了後は、作業を行った箇所等の消毒を行うこと。 10-3 搬入、設置等費用を含めること。